



つや姫
雪若丸



だより
～適期田植え編～

◎田植えの3大ポイント

- ① 田植え適期は「つや姫」が5月15～20日頃、「雪若丸」が5月15～25日頃です。田植えの遅れは生育の遅れにつながります。適期内の移植に努め、他品種より優先して植えましょう。また、低温、強風下での田植えは活着が悪くなりやすいため、天気の良い日を選んで田植えを行いましょ。
- ② 適正な植込本数(㎡当たり100本程度)を確保するため、栽植密度は21株/㎡(70株/坪)で1株当たり4～5本植えを基本とします。
- ③ 植え付けの深さは3cm程度が基本です。深植えは分げつの発生が少なくなり初期生育が確保できません。極端な浅植えは浮き苗による欠株や除草剤の薬害が発生しやすくなります。

◎水管理の3大ポイント

- ① 活着までは風や外気から苗を保護する水管理が必要です。田植え後1週間程度は、低温や強風対策のため、水深を4～5cm程度に保ちましょ。
- ② 活着後は2～3cm程度の浅水管理とし、分げつを促します。昼の水温を高めるため、昼間は止水し、入水は朝・夕に行いましょ。
- ③ 湛水状態で気温の高い日が続くと、土壌の異常還元「ワキ」が発生し、根の生育が阻害されます。分げつ初期に気温が高い日が続いたら、水交換を行い「ワキ」の発生を予防しましょ。「ワキ」が発生した場合には、2～3日の田干しを行い、根圏環境の改善に努めましょ。

重要!

収量・品質の安定化には6月10日の茎数確保が重要です！！
田植え・水管理の3大ポイントを徹底し、「つや姫」は220本/㎡、「雪若丸」は240本/㎡の茎数確保を達成しましょ！！

6月10日まで春期農作業事故防止安全運動強化月間です

春は農作業事故が起きやすいです。天候や体調を考慮して無理のない作業を行いましょ。熱中症対策のため、水分補給と休憩をこまめにとりましょ。

「北村山稲作情報」のLINEはこちらから

LINEで稲作情報を即時発信しています。リアルタイムに情報を取得して、きめ細かな栽培管理につなげましょ。

